

## 事業計画書

[平成26年度]

事業の名称	周南地域におけるNICUを体験したご家族の交流の場 新規開設事業 ～地域の拠点を地域の当事者が担うしくみ作り～
地域の課題	～周南地域にはNICUを体験したご家族の交流の場がない～  平成21年度、未熟児養育医療制度が県から市に移行されたことに伴い、周南地域では山口県周南健康福祉センターが主催していたいわゆる未熟児学級、「箱入り☆ベイビー」が市や当事者団体に移行されず、平成23年度ごろ、活動終了された経緯がある。  現在周南地域にはNICUを体験し、小さく生まれた子どもを持つ親が交流できる場がない。周南地域のご家族が山口・宇部地域での当会の活動に参加するには遠く、参加した方は心情面での共有には満足されているが、地域性のある情報交換にあたっては難しい状況である。子育て支援には地域性のある情報（医療機関・療育機関・保育所・学校など）が不可欠である。
事業の目的	～地域の拠点を地域の当事者が担うしくみ作り～  平成25年11月、周南地区の当事者の声を受けて、交流の場を周南市保健センターで試験的に開催した。広報は周南地域の保健センターにお願いし、のびっこに参加経験のある地域の当事者が場を運営するボランティアスタッフとして活動した。参加人数の目標達成、来ていただいた方の満足度も高く成果を収めた。交流の場のニーズがあること、周南地域在住のスタッフ確保が可能であることを確認できた。  「おしゃべり会～NICUcafe～」を開催し、対象者特有の育児不安・孤独感の解消を図ることに加え、周南地域の地域性のある情報交流が図れること。また、新しく周南地域で活躍する当事者スタッフ育成のため、場を運営するための「ぴあサポーター」研修を行い、自信を持って会を運営し、参加しやすい雰囲気づくりを行うこと。  これにより地域の拠点を地域の当事者が担うしくみ作りをすることを目的とする。  山口会場（のびっこ）・宇部会場（うべっこ）と連携し、スタッフ間交流やイベントを実施し、組織力を高め広域で連携を図る。  (周南会場の愛称は「箱入り☆ベイビー」からとり「はこいり」とする。)
事業の内容	～「おしゃべり会～NICUcafe～」 「ぴあサポーター研修」を軸に～  ① 実施内容 ・NICUママネット はこいり「おしゃべり会～NICU cafe～」(周南会場) 内容：通院や育児に忙しく、不安を抱える毎日にはっと一息つける場を目指し、NICU体験者の「ぴあサポーター」、低出生体重児の保育経験が深い「保育サポーター」による交流の場の提供。 とき：平成26年8月・平成27年3月 場所：周南市保健センター3階 和室 参加予定人数：各5～10組の家族 保育サポーター2名が子どもの見守りを行う

・「ぴあサポーター」研修

とき：平成26年5月・2時間程度 参加予定人数：5名～10名

対象者：周南地区在住のNICUを体験した当事者で、今後運営に携わる意欲のある人

場所：周南市保健センター 講師：NPO法人あつと理事・杉山美羽氏(予定)

内容：ピアカウンセリングについての基礎。支援される側から支援する側へ。新規組織運営について。

・合同企画「スクラップブック教室」

とき：平成26年10月 講師：ubecrop・金井智里氏

場所：周南市または山口市 参加予定人数：10人

内容：同じ体験をした仲間と、思い出の写真を美しく、楽しく飾る作業を通して、子どもの成長をふりかえりこれからの育児への活力となるよう工夫する。

ママ世代に人気の高いスクラップブック教室を開催することで新規参加者獲得を目指す。

② 実施手法（推進体制）

- ・NICUママネットのびっこ・うべっこのぴあサポーター・保育サポーターが支援する
- ・周南地域の保健センター（周南市・光市・下松市）に対象者への広報依頼・周知のため、市広報紙への情報掲載依頼
- ・山口県立総合医療センター、徳山中央病院NICUに対象者への広報依頼

③ 実施スケジュール

平成26年4月 ぴあサポーター研修日時場所確定 講師打合せ

平成26年5月 ぴあサポーター研修

平成26年6月 「おしゃべり会」日時場所確定 チラシ作製 広報開始

平成26年8月 「おしゃべり会」開催

平成26年9月 山口宇部のぴあサポーター・保育サポーターとのスタッフ交流会議参加  
「スクラップブック教室」広報開始

平成26年10月 合同企画「スクラップブック教室」開催

平成27年1月 「おしゃべり会」日時場所確定 チラシ作製 広報開始

平成27年3月 「おしゃべり会」開催

※周南地域の子育てイベントがあればブース出店・展示予定(平成26年10～12月)

期待される成果

～他地域での新規活動のモデルに～

・NICUを体験し、小さく生まれた子どもを持つ親同士の交流の場は少ない。遠距離通院を余儀なくされた家族や転勤などで初めての土地にきた場合、さらに居場所を失い、地域性のある情報を求めている。同じ体験をした人が集まる「おしゃべり会～NICUcafe～」を新たに周南地域で行うことによって対象者特有の育児不安・孤独感を解消することが期

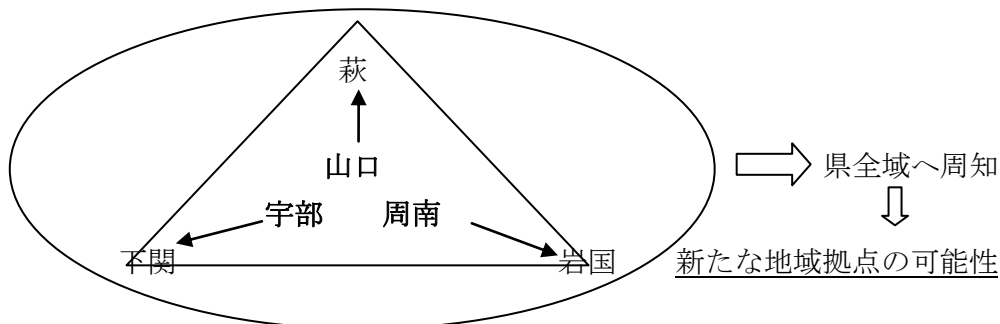
待される。

- ・地域拠点の運営を地元の当事者「ぴあサポーター」が行うことで、参加者側の安心感を高め、参加しやすく、寄り添いやすい雰囲気作りができる。「ぴあサポーター」側には自信を持って場の運営にあたれるとともに、研修やおしゃべり会での実践を通して「支援される側」から「支援する側」への意識の転換が期待される。
- ・地域拠点を地域の当事者が担うスタイルの確立により、他地域での新規活動のモデルとなる。

**今後の展望**

～活動を全県へ・つたえ・ひろげ・新たに生み出す～

・「おしゃべり会～NICUcafe～」の広報を山口会場→萩地域、宇部会場→下関地域、周南会場→岩国地域へと拡大することで県内のNICU体験者への周知を図り、参加者の中から新たな地域拠点を担う人材を発掘すること。



**活動（団体）の自立に向けて**

～振り返りとチャレンジで活動のスパイラルアップ～

・アワードへの積極的なチャレンジ

活動が7年目を迎え、平成25年度はコープやまぐち主催第8回女性いきいき大賞優秀賞(山口新聞社賞)を受賞した。これまでの活動が評価されていると自信をもち、今後はアワードへの積極的なチャレンジをする。賞金のある、なしに関わらず、受賞は広く活動を知ってもらえるきっかけとなり、参加者獲得はもちろん、のちの寄付集めにもつながる。

・寄付を集めるための戦略的な広報

従来のワークショップ参加費などの活動カンパに加え、活動を応援したいという個人からの寄付が集められるしくみを考察する。ブログでの情報発信、イベント時のプレスリリースは引き続き行い、より戦略的な情報発信を行うため、ITやファンドレイジングの専門家への相談を行う。

・過去の活動内容の振り返りを未来へつなぐ

これまでの活動内容から「ひと」「もの」「こと」の洗い出しを行い、参加者やスタッフ、事業実施、医療機関や行政との関係など振り返りを行う。その中からうまくいった事例は定期化・マニュアル化を検討し、人材の掘り起しを行い、積極的な広報のチャレンジとあわせて活動のスパイラルアップにつなげる。

**\*事業計画書を記入する場合の注意事項\***

この表には、平成26年度の助成事業計画についてご記入ください。

枠は適宜拡大してご使用ください。

「**地域の課題**」欄には、時代の推移とともに地域の課題となってきた経緯について、地域の実情に即して詳しく記載してください。

「**事業の目的**」欄には、「地域の課題」を解決するために、事業を行うに至った経緯・背景やその目的、思いを詳しく記載してください。

「**事業の内容**」欄には、①**実施内容**として、「目的」を達成するために何をするのか、事業の具体的な内容を詳しく記載してください。

②**実施手法（推進体制）**として、行政（関係機関）を含め、協力団体等とどのように事業を進めていくかを団体名も併せて記載してください。また、共催・後援・協賛団体等が決定している場合には、団体名及びその役割を記入してください。

③**実施スケジュール**として、事業を実施する計画を時系列に整理して記載してください。

「**期待される成果**」欄には、この事業を行うことにより、どのような成果が期待できるのか詳しく記載してください。

「**今後の展望**」欄には、この成果を次にどのように展開していくか、将来展望を詳しく記載してください。

「**活動（団体）の自立に向けて**」欄には、団体が実施する活動や、団体自身の自立に向けてどのように努めていくかを記載してください。